

係	専門員	係長	主査	主幹	局長	副議長	議長
●	●	●	●	●	●	●	●

様式第12号

令和3年11月9日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ

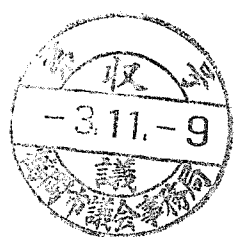
尾形 昌彦

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

期 日	令和3年11月11日 ~ 令和3年11月13日
参加者氏名	石塚 慶
場所・会場	大阪府大阪市東淀川区東中島 1-18-22 新大阪丸ビル 3F
内容(目的)	一般社団法人地方議員研究会セミナー 11/12 「自治体の予算から決算の基礎」 11/12 「地方交付税制度と自治体財政」
交通手段	自家用車・JR・飛行機・レンタカー
行 程	自宅→JR 羽越本線→庄内交通バス→庄内空港→羽田空港→大阪 空港 (伊丹) →大阪モノレール→北大阪急行・御堂筋線→会場 (往復)

(※) 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出して下さい。  
自家用車を利用した場合は、「車賃 (ガソリン代) 内訳書」を提出して下さい。



係	専門員	係長	主査	主幹	局長	副議長	議長
●	●	●	●	●	●	●	●

様式第13号

令和3年 11月 16日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

新政クラブ

尾形 昌彦

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

期 日	令和3年11月11日 ～ 令和3年11月13日
参加者氏名	石塚慶
場所・会場	大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-22 新大阪丸ビル3F
内容(目的)	一般社団法人地方議員研究会セミナー 11/12「自治体の予算から決算の基礎」 11/12「地方交付税制度と自治体財政」
調査・研修 の 概 要	元大阪府枚方市財務部長/会計管理者の程岡俊和氏による講義を受けた。 「自治体財政の見方」として予算決算にまつわる用語や、豊富な行政経験から議員に伝えたい予算等審議の際の視点を学んだ。 地方財政や国の最近の動きや、職員との関係の構築などにも触れ、どのような方法で市民に還元できる審議になるのかを学んだ。また、決算カードを確認し、同規模の他の自治体との比較を行い、本市の財政の状況を客観的に見ることによって課題を洗い出し、今後の質問等で確認する点をまとめた。 地方交付税制度ではその仕組みを学ぶとともにどのような状態で国の配分が決まるのか、また交付税の補正係数なども学んだ。税収と交付税の関係や臨時財政対策債などの制度を学ぶことでスコアシートへの理解も深まった。

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出して下さい。



係	専門員	係長	主任	主任	局長	副議長	議長

様式第13号

令和4年1月28日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）  
新政クラブ

尾形 昌彦

### 政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので報告します。

期 日	2022年1月26日（水）
参加者氏名	本間正芳、阿部 寛、本間新兵衛
場所・会場	グランドエル・サン
調査・研修項目（目的）	<b>庄内県勢懇話会</b> 有限責任監査法人トーマス リスク管理戦略センター シニア・マネージャー 対木さおり 氏 演題 「2022年の経済展望～中長期の視点から～」
調査・研修の内容及び所見	<p>（研修の内容）</p> <p>2022年の経済展望～中長期の視点から～と言う事で、対木さおり氏より講演を頂いた。日本経済の概況と注意点、日本経済が直面する課題、世界経済の動向、特に米国、中国の経済が鍵を握っている事を考えていくという事が重要であるという内容であった。</p> <p>（所見）</p> <p>今の時点で日本の経済はコロナ後を見据えた財政・金融政策が必要であることがひしひしと感じられた。また、コロナが必ずしも終息するとは考えにくいのでウイズ・コロナの政策が重要になってくると考えている。</p> <p>また、グローバルに見て資源価格動向などインフレの先行き、気候変動対策や新型コロナの感染状況、コロナ後の回復パスも必要になってくる。また、地政学リスクとして投資は世界全域、米中、ロシア関連が中心になってくると考えられる。それから米国中間選挙米国金融政策の動向とグローバルの資金フォローが大事になってくる。また、中国経済の動向（ゼロコロナ、不動産などの投資の先行き）なども考えて行く必要を感じさせられた講演であった。</p>

（※）自家用車を利用した場合は、「車賃（ガソリン代）内訳書」を提出してください。



係	専門員	係長	主査	主幹	局長	副議長	議長
●	●		●	●	●	●	●

様式第13号

鶴岡市議会議長 様

令和4年3月28日

会派名及び代表者名 (議員氏名)

新政クラブ 団長 尾形 昌彦 ●

政務活動費調査・研修報告書

下記のとおり、調査・研修の経過を報告します。

期 日	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月17日
参加者氏名	佐藤 博幸
場所・会場	〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地 新潟医療福祉大学 TEL: 025-257-4455 FAX: 025-257-4456
内容(目的)	大学院 博士後期課程 医療福祉学研究科 医療福祉学専攻 地域・国際保健福祉学 地域・国際保健福祉学特殊講義・演習 ・ 授業の目的 社会福祉学について講義で知識を習得する。 地域・国際保健福祉学特殊研究 ・ 授業の目的 博士論文作成を目的とする。
調査・研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域・国際保健福祉学特殊講義・演習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の概要 地域・国際保健福祉学の専門領域について学ぶ。専門領域は社会福祉学である。</li> <li>・ 学習目標 主に人間集団を対象とした基礎研究から応用研究、政策研究の方法論を知る。</li> </ul> </li> <li>○ 地域・国際保健福祉学特殊研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の概要 地域・国際保健福祉学特殊講義において学んだ理論と解析方法から、さらに科学的思考力と応用力を高め研究を行う。</li> <li>・ 学習目標 研究分野に関する広範かつ高度な知識を基に、学術的に独自性、先駆性のある研究目的を設定する。研究目的を達成するための研究計画を高い水準で作成する。 研究計画に従って実験、調査等を行う。(データ収集、分析、評価)</li> </ul> </li> <li>○ 全期間 ON LINE (ZOOM) による講義</li> <li>○ 学習成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英文論文「An Evaluation of the Fulfillment of Welfare Measures for Persons with Disabilities in Japan from the Perspective of Disability Welfare Service Providers」 Table 1.2.3.4.5.6.7.8</li> <li>・ 新潟医療福祉学会 査読 合格 「certificate of acceptance publication of article (論文の受理証明書)」写</li> <li>・ (添付) 和文「障害福祉サービス事業所から見たわが国の障害者福祉施策の充実度評価」 和文図表 図表 1.2.3.4.5.6.7.8</li> <li>・ Ph.d 博士(保健学) 学位認定・・・「学位記」写</li> <li>・ 令和4年3月17日 修了式・・・「修了証明書」写</li> </ul> </li> <li>○ 学習期間 2016年4月 ~ 2022年3月 (6年間 通学)</li> </ul>

(※) 自家用車を利用した場合は、「車賃(ガソリン代)内訳書」を提出して下さい。

